

甲状腺腫瘍の悪性を予測する AI システムで、地域間の医療格差をなくしたい！ 第一目標 150 万円を達成！ネクストゴールへ挑戦します！

9月2日(火)から開始した、岐阜大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 高橋佳大 臨床講師によるクラウドファンディングプロジェクト「甲状腺腫瘍の悪性を予測する AI システムで、地域間の医療格差をなくしたい！」について、48名を超える方々からのご支援により、第一目標の150万円を達成することができました。

募集終了日の2025年10月30日(木)までの期間は、現在開発中の試作品の製品化に向けて、AI モデルの改良(他施設共同研究で得られた教師画像を用いたシステムのチューンナップ)を進めるために、第二目標を200万円に設定し、ネクストゴールへ挑戦します。つきましては、引き続き本プロジェクトの取材・報道にご協力願います。

記

1. プロジェクト名：

甲状腺腫瘍の悪性を予測する AI システムで、地域間の医療格差をなくしたい！

高橋先生は、甲状腺腫瘍の画像診断と AI を用いた悪性度予測の研究を行っています。これまでに、超音波画像と臨床情報を組み合わせることで、悪性腫瘍の診断精度向上に貢献してきました。しかし、地域ごとに専門医の数や診断技術に差があり、正確な診断を受けられない患者がいるという課題があります。そこで、多施設から集めたデータを用いて AI 診断モデルを開発し、どの地域でも活用できる診断支援システムを構築するために、今回、クラウドファンディングに挑戦することになりました。

2. ページ URL : <https://academist-cf.com/projects/392>

3. 目標金額：第一目標 150 万円を達成、第二目標の200万円を目指します。

4. 募集期間：2025年9月2日(火)8時～2025年10月30日(木)17時

5. 資金使途：多施設共同研究に関わる症例登録や解析費用など

6. 形式：寄付金控除型 / All or Nothing 形式

※All or Nothing 形式は、期間内に集まった支援総額が目標金額に到達した場合にのみ、実行者が支援金を受け取れる仕組みです。

7. プロジェクト実行者：東海国立大学機構 岐阜大学医学部附属病院 高橋佳大

本プロジェクトの詳細は <https://academist-cf.com/projects/392> をご参照ください。



●募集ページ(<https://academist-cf.com/projects/392>)

academist

academistとは？ ログイン 新規登録

甲状腺腫瘍の悪性を予測するAIシステムで、地域間の医療格差をなくしたい！

</> 埋め込み シェア ポスト

#academist Prize 5th

寄付型



高橋 佳大 
岐阜大学、臨床講師

支援総額: 1,525,000 円
目標金額: 1,500,000 円
NEXT GOAL: 2,000,000 円

達成率
101 %

サポーター
48 人

残り時間
28 日

プロジェクトの支援に進む

スマホ 1台で?! 超音波画像 × AI = 悪性を予測する!

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html



岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。



東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

問い合わせ先

岐阜大学医学部附属病院 高橋 佳大
TEL: 058-230-6377
E-mail: takahashi.yoshihiro.r9@f.gifu-u.ac.jp